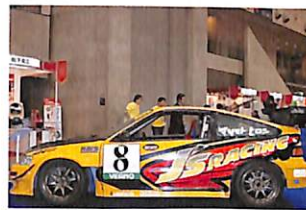


What Sport Compact DO YOU NEXT COUNT ON?

承

何かひとつのカタチがそこにあるとして、それをそのまま素直に享受できるかどうか、ここがカスタムマインドの分水嶺だ。吊しのクルマに乗ることを誰よりも厭い、俗世間の主流に翻弄されることを何よりも忌み嫌う。そんな反骨精神の塊こそ、カスタムマインドの真骨頂に他ならない。

一方、アメリカで生まれたMajorityに対するアンチテーゼである“Sport Compact”。そして今、このふたつの“価値観”が、お互いの存在を意識し受け入れ始めようとしている。そんなとき、きっと何か特別な魂 (SPIRIT) を宿した新しい“Sport Compact”が始まるかもしれない。2004年のオートサロンに足を運び自分の目で見て確かめ、そんな高鳴る胸の鼓動を抑えることができなくなった。



上段のZTT231セリカはトリアル製作によるデモカー。“TRIAL T3ZZ2L KIT BLITZコンプレッサー”システムにBLITZインタークーラー改/オイルクーラー、APEXIパワーFC+HKS F-CON V-proなどのチューンを施したエンジンを搭載する。またフロントスポイラー&カナードやサイドステップ、リアバンパースポイラー等のエアロパーツはTRY-FORCEのものが装着されている。RAYS G-games 77w vaio19インチで固められた足まわりのスタイリングは白眉。一方下段にあるシルバーメタのZ33はVARIS RACING CONCEPTの手によるデモカー。マフラーにはNISMOが装着され、カーボンフロントバンパーや専用カナード、さらにカーボンサイドステップ/リアバンパー/リアウィング/ボンネットなどはEXTREMOR ARISING-IIを使用している。足元に光るのはRAYS GT-Cのホイール。

